

一般

段級

しづかに覚えられてものには書き付侍る。

この宿の傍に大きな栗の木陰をたのみて
 世をいふ僧有。橡ひろふ太山もかくやと

〔奥の細道〕
 この宿のかたわらに、大きな栗の木陰に庵を建てて隠遁生活をしている何伸という僧があった。
 西行法師が「橡ひろふ」と詠んだ深山の生活はこんなであったろうとしみじみ思われて、
 あり合わせのものに感想を書き記した。

